



2020年4月14日

各 位

会社名 株式会社 ライトオン
 代表者名 代表取締役社長 藤原 祐介
 (コード : 7445 東証第一部)
 問合せ先 取締役管理本部長 川崎 純平
 (TEL : 029-858-0321)

第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正、
 特別損失の計上、並びに配当予想の修正に関するお知らせ

2019年10月8日に公表しました2020年8月期第2四半期累計期間(2019年9月1日~2020年2月29日)の連結業績予想と実績値に差異が発生いたしました。あわせて、2020年8月期通期(2019年9月1日~2020年8月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。また、特別損失の計上、並びに配当予想につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年8月期第2四半期連結業績予想との差異(2019年9月1日~2020年2月29日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A) (2019年10月8日公表)	35,000	600	600	200	7円25銭
今回修正予想(B)	31,276	145	207	△483	△17円53銭
増減額(B-A)	△3,723	△454	△392	△683	
増減率(%)	△10.6	△75.8	△65.4	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年8月期 第2四半期)	39,043	△419	△336	△1,767	△64円12銭

2. 2020年8月期通期連結業績予想の修正(2019年9月1日~2020年8月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2019年10月8日公表)	66,000	600	600	100	3円63銭
今回修正予想(B)	未定	未定	未定	未定	未定
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2019年8月期)	73,960	△2,175	△2,196	△6,144	△222円84銭

3. 業績予想との差異及び修正の理由

当社グループ（当社及び連結子会社）は、ジーンズをコアアイテムとしたアメリカンカジュアルファッションのセレクトショップとしてストアコンセプトを確立し、商品力の向上に努めるとともに、収益性の改善のための各施策の取り組みを進めてまいりました。

上半期の概況といたしましては、商品全般にファッショントレンドとの乖離が大きく、また、消費税増税や暖冬の影響もあり、防寒アイテムの販売が低調に推移したことで、9月から12月にかけて、継続して売上不振が続きました。トレンド要素を盛り込み、買いやすい価格で販売した春物商品の動向は年明けから堅調でしたが、1月後半以降、新型コロナウイルスの影響が日々大きくなり、売上を挽回させることはできませんでした。

以上の結果、当第2四半期累計期間の既存店売上高前年比は期初計画94.0%に対し、83.5%と期初計画を大きく下回る結果となりました。利益面につきましては、売上高の大幅な減少により、販売費及び一般管理費を抑制したものの、計画を下回る結果となりました。最終損益は、当初計画から大きく乖離している状況もあり、上半期での収益性の低下を判断し、減損損失を計上したことで、計画を下回る見込みとなりました。

通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛要請による消費マインドの低下もあり、3月の既存店客数前年同月比が64.7%、既存店売上高前年同月比が60.9%と前年を大きく下回る結果となったことに加え、2020年4月7日の7都府県に対する緊急事態宣言の発出によるさらなる商業施設の営業時間短縮、長期にわたる臨時休業などの措置が今後の来店客数の減少に大きく影響することが予想されます。このような状況等を踏まえ、現段階では、業績に与える影響に未確定要因が多いことから、2020年8月期の通期連結業績予想につきましては、合理的に算定することが困難と判断し、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

4. 特別損失の計上

当社は、2020年8月期第2四半期連結会計期間（2019年12月1日～2020年2月29日）において、上記3.で述べたとおり、閉店を決定した店舗及び収益性の低下がみられた店舗について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失570百万円を計上いたしました。なお、2020年8月期第1四半期連結累計期間までに既に計上しております減損損失計上額を含めた2020年8月期第2四半期連結累計期間の減損損失は、589百万円であります。

5. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2019年10月8日発表)		10円00銭	10円00銭
今回修正予想		－円－銭	－円－銭
当期実績	0円00銭		
(ご参考) 前期実績(2019年8月期)	10円00銭	0円00銭	10円00銭

6. 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様に対する安定的な配当の継続を重視しつつ、業績に裏付けられた利益還元を指向してまいりの方針としております。期末配当金につきましては、現段階では未定とし、業績予想の開示が可能となった段階で、配当予想を速やかに公表いたします。株主の皆様におかれましては、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記の予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上